

抗 NMDA 受容体抗体測定による、精神状態を伴う自己免疫脳炎の診断の有用性

1. 研究の対象

自己免疫脳炎等の診断のために腰椎穿刺、採血をされた方等

2. 研究目的・方法

既に提供して頂いた検体にて微量なペプチドや抗体の測定等を行い、疾患との関連性を検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：脳脊髄液、血液 等

情報：疾患名 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1-1

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系 精神科学講座

電話：018-884-6122

研究責任者・研究代表者：筒井幸、分担研究者：神林崇